



市民病院内の旬な人や出来事を紹介する PARK HOSPITAL NOW



横浜市立病院

中期経営プラン2023-2027を策定

このたび、今後5年間で市立病院が取り組む内容をまとめた横浜市立病院中期経営プランを策定しました。市民病院では、働き方改革と当院で働く職員並びに地域の医療人材を育成するための環境づくりを行い、安全で良質な高度医療を絶え間なく提供し、市民の皆さんの『安心とつながりの拠点』として、世界に誇れる病院を目指します。

市民病院の主な取組

高度医療の提供

- がんゲノム医療や手術支援ロボット等の先進的な医療の推進
- 多職種協働によるチーム医療の推進
- 地域の医療・介護従事者との連携強化 など

働き方改革

- 医師の時間外労働規制への対応
- 専門性を発揮するタスクシフトの推進
- デジタル技術を活用した業務の効率化 など

人材育成

- 職員の研究活動や専門資格取得等への支援
- シミュレーションセンター等の教育環境の充実 など



横浜市立病院中期経営プランの詳細は、
横浜市ウェブサイトでご覧いただけます。



手術支援ロボット・ダヴィンチ



院内研修

初診の方は、紹介状をお持ちください

- 初診時に他の保険医療機関等からの紹介状がなく来院された場合、保険診療の自己負担金のほかに保険外併用療養費(選定療養)として、7,700円(税込)をお支払いいただいております。
- はじめての診療科を受診される方も紹介状をお持ちください。
- 『耳鼻咽喉科(4月1日から)』と『消化器内科(5月1日から)』が、初診時紹介予約制となります。かかりつけ医からの紹介状と事前予約が必要になります。
- 『産婦人科(5月1日から)』が、初診時紹介制となります。かかりつけ医からの紹介状が必要になります。

本誌バック
ナンバーはこちら



横浜市立市民病院

診療
受付

月曜日から金曜日

(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診)

- 初診の方 午前8:00~11:00(診療開始8:45)
- 再診の方 午前7:30~11:00(診療開始8:45)

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎ 045-316-4580 (代)



救命救急センターへの受入れについて

- 平日日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

編集・発行:横浜市立市民病院 編集協力:モンタナセブンピクチャーズ 発行日:2023年3月 無断転載禁止

PARK HOSPITAL®

安心と
つながりの拠点

YOKOHAMA MUNICIPAL
CITIZEN'S HOSPITAL

横浜市立市民病院 広報誌 [パークホスピタル]

2023

March

TAKE FREE

Vol. 37

特集

2023年3月稼働開始

「ハイブリッド手術室」

足病変に悩む患者さんの窓口

「フットケアセンター」



横浜市立市民病院



特集 2023年3月稼働開始

ハイブリッド手術室

2023年3月、当院でハイブリッド手術室での治療がスタートしました。この手術室はどのようなことができるのか、詳しくご紹介します。



当院では、今年3月よりハイブリッド手術室の稼働を開始しました。ハイブリッド手術室とは、手術室に懸垂型の血管造影装置(3D-CT撮影も可能)を統合させたもので、高画質な透視・3D撮影を行うことができます。カテーテルを使う治療と外科手術を同時に、もしくは併用して行うことが可能です。

さらに2023年度からは、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を開始する予定です。TAVIは、足の付け根などからカテーテルを通して人工弁を植え込む手術です。患者さんの負担が少ないため、高齢等の理由で開胸手術が難しい場合にも施行できる可能性が広がります。

す。今後も地域の皆様のお役に立てるよう、実施できる手術をさらに増やしていく予定です。



心臓血管センター長
循環器内科長

根岸 耕二
KOJI NEGISHI

INTERVIEW

「ハイブリッド手術室」稼働で ハートチーム躍進の舞台整う

ハイブリッド手術室には現状、どのようなメリットがあり、どのような可能性が秘められているのでしょうか。心臓血管外科の笠間啓一郎医師に聞きました。



心臓血管外科 部長
—
笠間 啓一郎
KEIICHIRO KASAMA

01 ハイブリッド手術室は、 どんな機能を備えているのですか。

複数の動力源を備えた車をハイブリッドカーと呼ぶように、一般の手術室の機能に血管造影(血管X線撮影)装置を組み合わせたものを「ハイブリッド手術室」と呼んでいます。血管造影とは、細い管(カテーテル)から造影剤を注入してX線撮影し、血管などの状態をリアルタイムで描き出す技術。ハイブリッド手術室ができたことで、手術の現場にいながらにして高性能の血管造影装置を活用できるようになりました。これにより広範囲をさまざまな角度から撮影可能になり、しかも高画質の画像が得られます。従来の手術室と血管撮影室、両方の優れた部分を享受できるイメージです。

02 具体的に、どんな病気の治療で 役立つのでしょうか。

例えば、大動脈の壁の一部がコブのように膨らんでしまう大動脈瘤に対して、カテーテルを使ってコブがある箇所にステントグラフト(人工血管の一種)を留置し、破裂を予防する治療法があります。この場合、血管の状態やコブの位置を精密に把握することが欠かせず、ハイブリッド手術室の高度な血管造影装置の活躍が期待されます。

重要な他の血管をステントグラフトがふさいでしまう場合は、手術で新たにバイパス(迂回路)を設け、血流を確保すべきケースもあります。カテーテルを用いた血

管内治療と外科手術の双方を同時に行えることは、ハイブリッド手術室ならではのメリットだといえます。

03 大動脈瘤の治療以外では、 どんな活用方法が想定されますか。

緊急症例の対応で幅広く活用できると考えています。入念な事前準備ができる予定手術と異なり、緊急のケースでは「カテーテル治療を進めていたが、途中で外科手術が必要だと判明した」といった想定外の事態も起こりやすいもの。そうした場合でもハイブリッド手術室なら柔軟な対応が可能です。

また、カテーテルを使って心臓内に人工弁を留置するTAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)という治療法は、ハイブリッド手術室がなければ実施できません。当院でも準備が整い次第、取り組んでいく予定です。

04 最後に、患者さんへ メッセージをお願いします。

ハイブリッド手術室の誕生はハード面の進化であると同時に、関連する医療従事者がより深いディスカッションを行う「土壌」にもなり得と感じています。多職種連携によりハートチーム(循環器治療に関わる専門家チーム)のレベルアップを図り、これまで以上に地域医療に貢献できることを願っています。



大きなアームが回転してさまざまな角度から撮影できる。
撮影した画像は、リアルタイムで立体表示が可能。

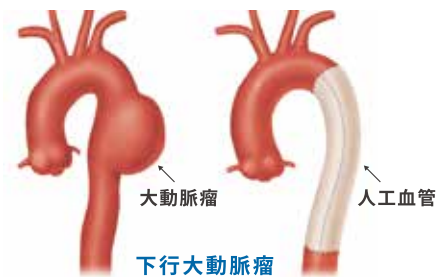
— ハイブリッド手術室で行う手術 ①

ステントグラフト内挿術

ハイブリッド手術室で手術を行うことができる疾患に、大動脈瘤があります。どのように手術を行うのでしょうか？



大動脈瘤とは？

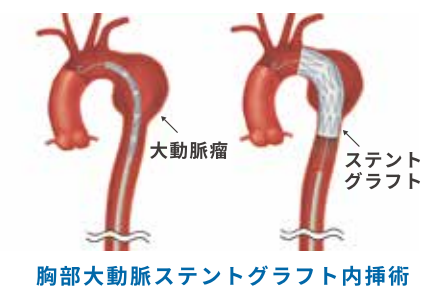


大動脈瘤は、大動脈の一部が膨らみ、コブのようになった状態です。通常は胸部で30ミリ、腹部で20ミリ程度の太さですが、一定のサイズを超えると、破裂する危険性が高くなります。その予防には、2つの方法があります。

1つは従来の外科手術で、開胸または開腹して、大動脈瘤がある部分を人工血管に取り換えます。もう1つがステントグラフト内挿術で、血管の中に人工血管を留置し、大動脈瘤の部分に血流の圧をかけないようにして、破裂を予防します。どちらも有効な治療手段であり、患者さんの状態にあわせて選択します。



開胸や開腹をしない手術



ステントグラフト内挿術は、足の付け根から血管にカテーテルを通すため、開胸や開腹をすることはありません。大動脈瘤の状況によるので、すべての患者さんに適応できるわけではありませんが、外科手術と比べて患者さんの負担が少ないというメリットがあります。術後の入院期間も短く、手術の傷の痛みも軽減されます。

ハイブリッド手術室では、以前より高性能の設備を使用できるため、ステントグラフト内挿術がこれまで以上に安全に実施できます。



ハイブリッド手術とは？



ハイブリッド治療(手術+ステントグラフト内挿術)

近年、胸部ステントグラフト内挿術と血管バイパス術を同時に行う手術(ハイブリッド手術:Debranching TEVAR)が行われるようになりました。開胸による人工血管置換術を実施することにリスクがある高齢の患者さんなど、ステントグラフト内挿術だけでは治療を行えない方に対して、この治療法を実施できます。ハイブリッド手術室が稼働して、このような手術もより安全に対応できるようになります。

画像提供: トーアエイヨー株式会社「インフォームドコンセントのための心臓・血管病アトラス」(注釈は市民病院記載)

多職種連携 | 診療放射線技師

ハイブリッド手術室では、X線を用いて身体の内부를透視しながら手術を行います。X線透視は、放射線の量を多くすればするほど画質が良くなり手術がしやすくなります。反面、放射線の量が増えると被ばく量が増えます。私たち診療放射線技師は、被ばく量を極力減らしながらも安全に手術ができるように、X線出力の調整や、大型で複雑な装置の操作を担うことでチームの一員として手術のサポートをしています。



画像診断部担当係長
診療放射線技師
田邊 頌章
NOBUAKI TANABE

— ハイブリッド手術室で行う手術 ②

経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)

今後、当院のハイブリッド手術室で行う予定の手術に「TAVI」があります。TAVIは、大動脈弁狭窄症の患者さんに有効な手術の方法です。



経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)とは？

大動脈弁狭窄症とは、心臓にある4つの逆流防止弁のうち、心臓の出口にある大動脈弁が動脈硬化で開かなくなってしまい、十分な量の血液を送り出せなくなる病気です。初期は無症状であることが多く、突然の意識消失や胸痛、呼吸苦などが出現したことにより発見されることが多いです。

これまでの治療は開胸による外科的大動脈弁置換術が

主でしたが、体への負担が大きいため、高齢などのリスクを抱えた患者さんには適応が難しくなっていました。経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)は、血管を通路に見立て、人工弁を搭載したカテーテルを心臓まで運び、大動脈弁の交換を行う手術です。これまで治療を諦めていた患者さんへの新たな選択肢として期待されています。

01 カテーテルの挿入



交換する弁をボールペンほどの大きさに折りたたんだものを搭載したカテーテルを、通常は足の付け根の動脈から挿入します。大動脈内を足から心臓へと遡り、大動脈弁までカテーテルを到達させます。

02 人工弁を展開



大動脈弁に到達した後は折りたたまれていた交換用の弁をバルーンを使用して展開させ留置します。その際、心臓を止めることなく治療ができることが大きな特徴です。留置した新しい弁は、その直後から大動脈弁としての機能を開始します。

03 カテーテルの抜去



大動脈弁の交換が完了した後は挿入したカテーテルを抜き出し、足の傷を止血します。手術時間は4時間程度で、全身麻酔ですが、開胸しないため、その後の社会復帰までの時間は外科的手術より短くなります。

画像提供: エドワーズライフサイエンス株式会社

多職種連携 | 臨床工学技士

当院には臨床工学技士が18名在籍し、365日24時間体制で急性期医療に従事しています。また、医療安全管理室や医療機器安全管理者のもとで医療機器安全管理の維持・推進を行い、医療安全の確保に努めています。手術室では心臓外科手術で用いる人工心臓装置や手術支援ロボット・ダヴィンチなどの医療機器に関する操作を担い、医療機器の専門家として多職種と連携し、チーム医療の提供を行っています。



臨床工学部担当係長
臨床工学技士
青木 宏介
KOSUKE AOKI



PICK UP
NEWS

足病変に悩む患者さんの窓口 フットケアセンター

糖尿病や透析をしている患者さんは、動脈硬化などの合併症により、血流障害が生じます。血流障害があると、深爪や靴ずれ、足の指をぶつけたときの傷などが治りにくくなります。足病変でお困りの方は、フットケアセンターにご相談ください。



形成外科長 代理
竹丸 雅志
MASASHI TAKEMARU

フットケアセンター長
循環器内科 部長
小浦 貴裕
TAKAHIRO KOURA

皮膚科長
蒲原 毅
TAKESHI KANBARA



Q. フットケアセンターとは？

海外では医師、歯科医師と並んで“足病医 (podiatrist)”という資格がありますが日本にはありません。そのため、なかなか治らない足の傷を持つ患者さんはどの先生に相談すればよいのか、またホームドクターの先生も病院のどの診療科へ患者さんを紹介すれば良いのか迷うのが現状です。

フットケアセンターはそういう患者さんの窓口であり、さまざまな原因から生じる足の傷に対して、複数の専門家が協力して診察に当たり、総合的に診断、治療、再発予防を行います。具体的には、①循環器内科医が足の血流の診察・治療と全身の管理、②皮膚科医または形成外科医または整形外科医が傷自体の処置や手術を行い、③糖尿病看護認定看護師が足のケアの方法や再発予防の指導を行います。外来では①②③が並んだ診察室で順に診察を行います。

Q. 対象となる患者さんは？

なかなか治らない足の傷、足先の色が紫～黒色、足先が冷たい、安静にしているとも足が痛いなどの患者さんが対象です。特に傷から膿が出たり悪臭がしたりする場合や、色の変化や痛みが日に日にひどくなるなど進行の速い場合は要注意です。



認定看護師が足のケアを行います。



糖尿病看護
認定看護師
飯尾 美紀
MIKI IINO

足にできた傷は加齢や動脈硬化により血流障害を生じて重症化してしまうことがあります。また、低栄養や、糖尿病の方の血糖コントロールの状況が、傷の治癒に影響を及ぼします。傷の治癒と重症化予防の視点で、患者さんへの指導を行っています。フットケアセンターが発足したことにより、管理栄養士や理学療法士とも連携して患者さんの療養を支えています。



MEDICAL
COOPERATION

患者総合サポートセンター 登録医療機関をご紹介します

はせがわ内科クリニック（保土ヶ谷区）

【診療科目】内科・消化器内科／内視鏡検査

一般内科・消化器診療、胃・大腸内視鏡検査を中心に、あらゆる疾患の診療を幅広く行っています。新型コロナウイルスに対しては、発熱外来をいち早く開始、1万回を超えるワクチン接種を行ってきました。通院困難な患者様には24時間対応の在宅診療も行っています。市民病院の先生方とは、密な病診連携を取らせていただいています。2023年4月、当院は近隣に移転、診療スペースを約3倍に拡張します。医師・スタッフを増員、最新の医療機器を導入、電話回線の増強や駐車場の拡張も実現しました。脳神経内科・皮膚科・泌尿器科専門医の外来も開始します。「受診していて良かった」と感じていただけるクリニックを目指して努力を続けてまいります。どんなことでもお気軽にご相談ください。



長谷川院長



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:30～18:30	○	○	○	○	○	14:00～17:00

【休診日】日曜日、祝日

〒240-0053 横浜市保土ヶ谷区新井町457-1 TEL:045-372-3131 URL:https://www.hasegawa-naika.net/

医療法人社団 布川内科医院（神奈川区）

【診療科目】内科・循環器科・呼吸器科・消化器科

市民病院より遅れること1年、神奈川区三ツ沢の地に開業して58年になる地域密着型の診療所です。高血圧や糖尿病、心臓病の患者様を多く診察させていただいており、中には3代に渡って通院されている方もいらっしゃいます。市民病院の先生方とも連携を密にさせていただいて、何かあればすぐにご紹介もさせていただいております。お困りのこと、ご心配なことがありましたら、お気軽にぜひ当院へご相談ください。スタッフ共々皆様の健康をサポートさせていただきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



布川院長とスタッフの皆さん



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:00～12:00	○	○	—	○	○	○
13:30～15:00	○ 17:00～19:30	○	—	○ 17:00～19:30	○	○

【休診日】水曜日、日曜日、祝日 ※月木は17時～19時30分も診療

〒221-0856 横浜市神奈川区三ツ沢上町12-20 TEL:045-321-7500